

在京芸陽

第31回 在京芸陽観音同窓会のご案内



- 日時 平成 29 年 10 月 1 日 (日) 12:00 ~ 14:00 (11:30 より受付開始)
- 場所 六本木ヒルズクラブ 東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 51 階
TEL 03-6406-6001
- 会費 9,000 円
- 催し 観音高校音楽部 OB 合唱団による合唱ほか
- 申込 同封の払込取扱票でお申し込みください。申込締切：9 月 8 日 (金)
事情により申込後に参加取り消しを希望される場合は 9 月 15 日 (金)
までに代表連絡先にご連絡ください。会費を返金致します。

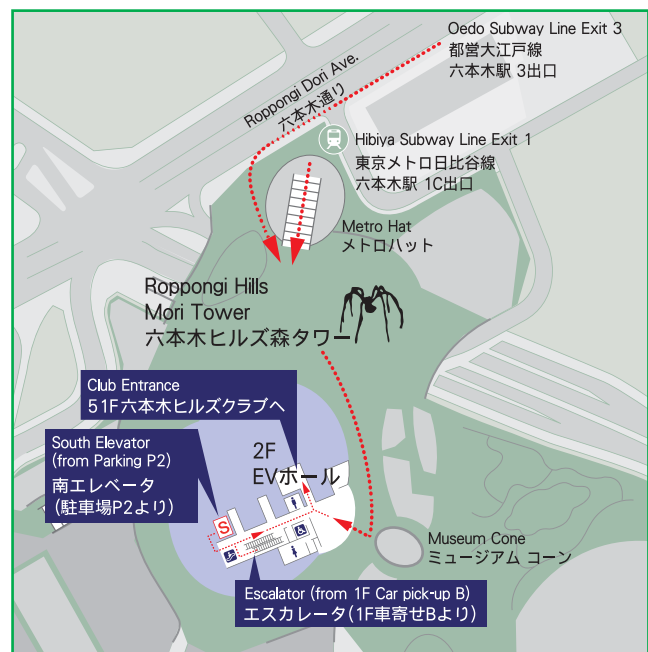
皆様の周りで本案内が届いていない方がおられましたら代表連絡先にご連絡ください。折返し案内と払込取扱票をご送付致します。ご友人とお誘い合わせの上ふるってご参加ください。

在京芸陽観音同窓会
会長: 松本 直和 (広島観音 20 回)
TEL : 090-5428-3364
E-mail: nac03015@nifty.com

代表連絡先: 大中 和茂 (広島観音 26 回)
TEL : 080-3447-7786
E-mail: k-onaka@jcom.home.ne.jp

会場最寄駅 (地図参照)

地下鉄日比谷線六本木駅 1C 出口 3 分
地下鉄大江戸線六本木駅 3 出口 6 分



<http://www.roppongihillsclub.com/visitor/dfw/jp/index.html>

2022 年に母校は創立 100 周年を迎えます。
同窓会では「創立 100 周年記念事業実行委員会」を立ち上げました。

同窓会会長挨拶



松本 直和
(広島観音 20回)

昨年四月に会長を引き継ぎまして、早くも一年半が過ぎようとしています。この間、在京同窓生の皆様、松本前会長をはじめ諸先輩の皆様、そして在京同窓会理事の皆様にご支援いただき、微力ながら何とか務めることが出来ました。厚くお礼申し上げます。特に昨年の総会は当会発足三十周年記念大会として、百人の同窓生の方にご参加いただきました。この参加数は私が参加するようになってからは最多の参加者数だと思いません。当番幹事の皆さんご苦労様でした。今年の当番幹事さんもやる気満々で、昨年以上に集めると意気込んでいらつしやるので、頼もしく大変期待しております。

昨年総会でご協力頂きましたOB合唱団が、五年前の様な祈念コンサートを企画されていらつしやるので、これを機会に皆様の交流が益々活発になれば、当会としても嬉しい限りです。また、今年の理事メンバーには熱狂的なカープファンがいます。去年のセ界一から今年は日本シリーズ制覇を目指して、四月

のカープ応援観戦会をはじめカープ応援の企画をしていると聞いております。今年もカープ女子に負けないほどの熱い応援をしたいと思えます。日本一を目指して熱い年になるよう期待しております。

とはいえ上京して大学進学や職に就こうという卒業生が徐々に減少しております。当同窓会の台所事情を申し上げます。昨年は総会受付でのタル募金と賛助広告等の寄付のおかげで何とかしのげました。特にタル募金では八万円を超える募金をいただき、理事一同、総会ご参加の皆様にも厚くお礼申し上げます。今年も会報発行支援費や寄付をよろしくお願ひします。また賛助広告にご協力頂きました皆様にも、重ねてお礼申し上げます。寄付をお願いする一方で、当会では経費削減の一環として、振込手数料の負担のお願い、高齢者同窓生の方で会報発行支援費未払いの方や総会不参加の方への会報発送停止、総会参加費の見直しを決定しました。厳しい同窓会資金状況の中で、皆様のご理解をいただきました。よろしくお願いいたします。

なお、昨年の会報で誤報問題がありまして、物故者リストに誤って掲載しました観音十一回 中村 洋一郎 様に深くお詫び申し上げます。昨年の総会でお詫びとご報告をしましたが、本欄にて改めてお詫び申し上げます。これに

伴って齋藤副会長、会報担当の太田理事が辞任しました。今後同様のことがないよう情報確認に十分注意したいと思います。また、両理事の後任としまして玉垣、小松、勝山、井上の四名の方に新たに理事としてご協力をお願いしました。私も会長として責任を感じておりまして、この新たな体制でワンサイクル回して次の世代に引き継げればと考えております。

関東地区へ転入される卒業生が年々減少傾向にある中で、理事一同、毎年、総会や会報発行のためにいろいろとお願ひしております。同窓生の皆様には、変わらぬご支援と総会へのご参加をお願い申し上げます。

記事訂正のお知らせとお詫び

昨年お届け致しました在京同窓会会報「二〇一六年版芸陽」の物故者御氏名および平成二十七年年度会報発行支援費・寄付納入者の名簿にて誤情報掲載いたしましたので、訂正いたします。

誤 逝去 中村 洋一郎様
(観音十一回)
正 ご存命です。

この誤った記事により、ご本人はもとより、ご家族、同級生の方々に多大なご迷惑をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。

今後はこのような過ちを繰り返さぬよう誠心誠意努力致します。

在京芸陽観音同窓会会長 松本 直和

同窓会幹事から皆様へ参加のお誘い



大中 和茂
(広島観音 26回)

本年の同窓会の幹事を担当します大中和茂（広島観音26回）です。二〇二二年、観音高校は広島二中創立から一〇〇周年を迎えます。私個人は高校生活の三年間しか知らず、卒業後すぐに訪れた以外は母校に一度も足を運んでいませんので、我が観音高校は今どうなっているのだろうか、同窓会のホームページにアクセスしてみました。そこには、校舎の写真とともに広島二中・芸陽高校・観音高校の沿革が載っていました。いくつか印象に残りました例を挙げますと、一九四五年八月六日広島に原子爆弾投下され全市破壊され校舎倒壊する。これによる死亡、職員九名、在校生徒三四一名、合計三五〇名（其の他呉空襲で二名爆死）。

の頭文字HKを組合せたものを決定した。一九五四年広島商業高校開設により、商業科第一学年を転出せしめる。一九七三年 家政科コースの最後の卒業生を送る。一九七五年 清風寮運営廃止。一九七九年 西校舎（通称キリマンジャロ）の取り壊し。多感であった十代の三年間には皆さん、それぞれの甘酸っぱい思い出があることと思ひます。この同窓会が皆さんの懐かしい出来事や体験を共有する良い機会になることを願っております。

昨年是在京芸陽観音同窓会の三十周年でした。その記念行事として、OGの蔭村三枝子さん、高嶋圭子さん、観音高校OB・OG合唱団の皆さんによる合唱と朗読による「いしづみコンサート」（原爆によって全滅した二中一年生の悲劇を歌った合唱曲）を上演してくださいました。同年七月、西早稲田で開催された「いしづみコンサート」を初めて聞いた時、私は涙が止まらないほど感動しました。今、当たり前と想っている平和な日々が脅かされています。この「いしづみコンサート」のことを、同窓生の方の力で全国に広げることができれば、平和を願う人の輪がもっと強く、かつ大きくなると信じています。

六本木ヒルズ森タワーで開催される同窓会へ是非ご参加ください。思い出とともに、美味しい料理と最高の眺望を楽しむことができます。

カープ観戦ツアー
(四月二十二日 神宮球場)

四月二十二日神宮球場にて、初めてのカープ観戦ツアーが行われました。当日はあいにくの雨にもかかわらず、観音の同窓生とその仲間三十名が集合しました。

参加者の顔ぶれを軽くご紹介させていただきます。

まずは最大の驚愕！広島から参加者が♪観音四十二回の女性が単身広島より参戦です。ご夫婦で参加された方が六組。皆さん素敵なご夫婦でした。同期女性三名で参加された方はシニア・カープ女子の力を見せますと意気込んでいらっしゃいました。

【東京遠征記】

新井 智美 (広島観音42回)

事の始まりは去年の七月。在京の姉と話している際、「今年、カープ神ってるよね〜。でも東京じゃカープのチケット全然取れないんだよね〜」と延々続く姉の言葉に「東京にいるOBに聞いてみようか？」と投げかけた一言からでした。パツと頭に浮かんだ



新井さん(左)と、いとこ

【夫婦観戦記】

高野 進一 (広島観音30回)

小松さんの顔。広島で二回しかお会いしていないにも関わらず、とても親身に対応いただき、九月十日のドーム観戦が決定したのでした。九月に入ってマジックがどんどん減り、「これはもしかすると、もしかするかも〜」と思いつながら迎えた当日。人生初のドームで観音OBならではのフオローを全身に浴びながらの観戦。それが二十五年ぶりの優勝に立ち会える瞬間になるなんて、自分の運の良さに驚くばかりでした。

無情の雨も止む気配なく、神宮球場を後にして食事会にも夫婦で参加。二十五回玉垣さん、國行さんともカープの昔話で花が咲き、初優勝の伏線となった山本浩二の入団話やら、実力者を輩出した黄金の山陽道ベルトなどのうちで盛り上がりましたが、最後はなぜか我が母校の呼び名がKANNON(カンノン)かKANNON(カンオン)かの論争の真相話となり、自分



高野さんご夫婦

四月に横浜から水戸に転勤となり首都圏でのカープ観戦も減るなあ、と思っていた矢先、三十一回小松さんから声を掛けてもらい玉垣幹事のご厚意で我が家のカープ女子と一緒に初めての在京カープ観戦ツアー参戦となりました。当日は水戸から愛車カープ号で駆けつけ、雨の中、赤いポンチヨで勝利を信じ応援しましたが、残念ながら二年目岡田投手の奮闘だけが心に残ったゲームでした。



左より岩瀬さん、安岡さん、黒田さん

チケット入手困難な昨今、場所も神宮とあって早速申し込みました。二十回卒は岩瀬清子さん、安岡千寿子さん、黒田の三名、どうやら最年長らしい。シニア・カープ女子頑張つて応援するぞ♪久しぶりのナイター、暮れなずむボールパークの雰囲気味わいたくて早目に入場しましたが、ポツリポツリと雨が…。球場デビューのYさんは素敵な雨支度、筋金入りカープ女子のIさんも重裝備に応援グッズを携えて登場です。小雨の中、岡田投手も野手の皆もやりにくそうだな。相手の小川は尻上がり調子が良くなつて、応援の傘の波も元氣いいな。だんだん雨は強くなり、寒くてビールを飲む気にもなれません。ついに七回、一対〇のコールド負けとなりました。パツとしない内容！寒い雨！さんさんでしたが(Yさんは雨女だとか)、何故かとても楽しかった。玉垣さん企画して下さつて有難うございました。まだまだ先は長いけど、今年こそ目指せ、日本一！

【同期観戦記】

黒田 美和子 (広島観音20回)

【親子観戦記】

太田 信三 (広島観音24回)



太田さん親子

今回のツアーに参加するに当たり、誰と行こうかと考えた際に思いついたのが、年末以来会っていない三十二歳独身の一人娘でした。日頃は、偶に食事に誘つてもNO返信が多いのに、この件には珍しく即OK。聞くところ、プロ野球観戦は初体験なのだから。当日は生憎の雨。十分前に現れた娘と球場に入り、持参した合羽を着ようとしたら、保存状態が悪く無惨にも頭巾から右手に掛けて大きく破れて、そのままではとても着ることの出来ない代物でした。しかし降りしきる雨を避ける為に、已む無く着ていたジャンパーの下に着こんで、なんとか観戦することが出来ました。写真はその惨めな姿を晒しているのですが、その後、玉垣さんからポンチヨを貸して頂き、無事最後まで観戦出来たものの、試合は七回裏降雨二コールドゲーム負けという残念な結果でした。しかし、一点救われたのは、写真でも分かる親に似ずいつも前向きで明るい娘の、とても楽しかったよ、という言葉と笑顔でした。

特集：在京でがんばっている女性たち

広島で青春を過ごし、現在、東京周辺で活躍している
しなやかでたくましい女性たちに寄稿していただきました。

自己紹介 —観音高校の思い出と現在—



國光 文乃
(広島観音 48回)

医師・元厚生労働省課長補佐

在京芸陽観音同窓会のみなさま、はじめまして。四十八回生(平成九年卒)の國光と申します。観音高校を卒業後、医師になり、病院勤務の後、厚生労働省で十二年余り医療政策に従事しておりました。この場をお借りし自己紹介させていただきますと、自宅は廿日市で、越境受験し、合同選抜時に幸い観音高校に通学の機会を得ました。観音高校は生徒の自主性に任される校風で、勉強はもちろん、部活、生徒会、ボランティア、芸術、アルバイトなど、各自が高校生活を謳歌しており、私もその校風の恩恵を受け、今につながる財産となる実り多い学生生活を送ることができました。特に、振り返って印象深いのが、特別授業で、広島二中一年生の全滅の歴史を描いた「いしぶみ(碑)」のドキュメンタリー番組を見る時間が度々あり、杉村春子さんの朗読と、最後に生徒の遺影が崩

れ落ちる衝撃的な光景が切々と迫ってきて、二中の先輩方から続く歴史の重みを深く感じました。また、部活動では柔道部に所属し(当時ヤワラちゃん(田村亮子選手)チームであり、女子部員も十名ほどおりました)、日々稽古に励みました。猛暑や積雪の中での出稽古、乱取りなどの稽古は厳しいものもありました。が、「心・技・体」「柔よく剛を制す」などの教えは今にも大変生きております。柔道で一段落ついた後は、大学受験が目前に迫っており、どうしようかと悩んだのですが、母親が薬剤師として働く姿を見ていた中で、医療職への希望があったこと、また、苦境から医師免許取得、米国留学を成し遂げ、アフリカで黄熱病に一生を捧げた野口英世への憧れがあり、国内唯一の熱帯医学研究所がある長崎大学医学部を第一希望に受験勉強に励みました。(親元を離れて生活してみたいとの気持ちもありましたが...)何とか長崎大学に合格し、入学後は、アフリカでマラリアやAIDSの研究活動を行った、五島列島の離島医療活動に同行させて頂いたり、長崎大学ならではの貴重な経験をさせて頂きました。

卒業後、病院で内科を中心に勤務医をしておりましたが、徐々に、医師不足、がん医療の充実、介護サービスの不足など様々な課題を何とかしたいとの思いが強くなり、そのためには医療現場を支える仕組み作りが重要と考え、厚生労働省の門を叩くに至りました。厚生労働省では、十二年余り、医師不足対策、感染症対策、病院経営などの担当をして参りました。関係者のご意見やデータを踏まえ、政策を立案していくのは、時に大変なことでもあります。一方、医療費の急増(毎年一兆円ずつ増加)など、医療を取り巻く環境も厳しくなり、医療保険制度を持続可能なものにするためにも、財政や経済を含め大局的な目配せが必要であることを強く感じております。また、同業の主人との間に小学三年の子どもがおり、保育園にお世話になりつつ、仕事と家庭との両立に、(日々自転車操業ながら)努めてきました。現在は、本年明けに、急なご縁があり、国政選挙に向け活動を始めております。振り返っても、現在に至る道は、観音高校で多くの貴重な学びをさせて頂き、自分なりの土俵ができたことに尽きるように常々思っております。今後、このご恩を少しでもお返しすべく、芸陽観音高校同窓会の更なるご発展を心より祈念いたしますとともに、母校、同窓の皆様のお力添えができるよう、研鑽して参りたいと存じます。

依頼者の期待値を 超えるサプライズ



松井 明子
(広島観音 25回)

アムフォーラム教育研究所代表

教育に携わる仕事を始めてすでに三十年以上になります。幼児教育から学生の受験や論文指導、教育現場の指導者の相談や指導法の講義を手がけ、近年は女性講座やキャリアアップの依頼も多くなっています。クライアントの9割が十年以上の長い付き合い。常に飽きさせない提案と質の高い指導力、そして絶対の信頼を心がけています。例えば子どもたちの教育に関して医学の道に進みたい、進ませたいという依頼には特待生合格という予想を上回る結果でお返しするし、キャリアを積んで専門職にという要望には期待値を超えるステージアップを展開させます。人を感動させる仕事は、手がける側にとっては膨大な準備とエネルギーを要しますが、その感動は受け手よりも大きいことを実感しています。今、多くの女性たちが定年退職後も地域社会のために力を尽くしたいと望んでいます。そのため新たな学びを求められています。教育は年齢に関係なく、知る喜びや幸せの量を

増やせるものです。アカデミックでフレキシブルな仕事を展開していく、常に学び続ける姿勢を崩さず謙虚さと真摯な態度で予想を超える結果を出す。それが私の仕事です。

**恩師の言葉に
背中を押され**



三枝子 三枝子
(広島観音 23 回)

舞台俳優
もし、観音高校に入学していなかったら、おそらく舞台俳優にはなっていなかったでしょう。

演劇部の部長を務めていた高校二年の時、担任の先生から「演劇の道に進んでみたら」と勧められ、プロの舞台俳優の道を選ぶ事になりました。卒業後は東京の俳優養成所で三年間俳優の勉強をしました。俳優養成所ではどんな授業があるのか、ちょっとご紹介しましょう。

演技のレッスンは勿論ですが、日本舞踊、狂言、クラシックバレエ、モダンダンス、体操、ミーム(無言劇)、声楽、リズム、朗読、呼吸、西洋演劇史、日本演劇史、等々、座学以外はどれもハードで、日々筋肉痛に耐えながらのレッスンでした。でも当時の

しっかり基礎を教え込まれたおかげで、今も舞台俳優を続けることが出来るのだと思います。

最近ヒロシマをテーマにした作品の演出、出演が多くなりました。二〇〇〇年に始めた一人芝居「広島にチンチン電車の鐘が鳴る」は今も再演を続けています。三年前からはリーディング舞台「父と暮せば」、二年前からは「少年口伝隊一九四五」を毎年演出、出演しています。今年も八月六日と九日に南青山マンドラで上演致します。

また、昨年はOB合唱団のみなさんと、合唱と朗読による「いしぶみコンサート」に朗読として出演致しました。今年も、十月十四日に西早稲田の早稲田奉仕園スコットホールで「いしぶみコンサート」を開催いたします。

ヒロシマを、テーマにした作品ばかりでなく、様々な舞台に出演しています。写真のような派手な役も演じますし、日本髪で時代物のしっとりした役も演じます。また最近には朗読教室の講師としての仕事も増えてきました。NPO日本朗読文化協会やNHK文化センターなどで朗読の教室を持つて、朗読の楽しさを沢山の方に教えています。



私の音楽人生



高嶋 圭子
(広島観音 32 回)

作曲家

私の広島での生活は、父の転勤に伴って引越した小学校一年生の二期から始まりました。四歳でピアノを始め、鍵盤楽器をおもちゃ代わりにして育った私は、古田小学校を卒業する頃には、将来は音楽に関わる仕事に就きたいという漠然とした希望を抱くようになっていました。庚午中学校では合唱部に入部し、歌うことの楽しさに目覚めました。先輩方の背中を追い、念願叶って観音高校へ。在学中は音楽部で三年間、合唱三昧の日々を過ごしました。そんな中、高校二年時に作曲の指導者との出会いがきっかけとなり、作曲の勉強を始め、卒業後は東京で一年間の浪人生活を経て東京藝術大学作曲科に進みました。

大学卒業後も東京での生活を続けるうちに、素晴らしい演奏家の方々の出逢いがありました。なかでも一九八七年にフランスから初来日したパリ・トロンボーン四重奏団のメンバーとの出逢いは私にとっての転機となりました。その後、少しずつですが作曲

や編曲の依頼を受けるようになりました。また、合唱団のピアノ伴奏を務めたご縁で女声合唱曲や混声合唱曲、またオーケストラの伴奏を持つ合唱曲の編曲なども経験させて頂きました。

結婚後、二人の子どもの育児に追われるようになると、思うように書けない時もありましたが、今では二人の娘たちも大学生となり、仕事の忙しい時には家事を手伝い助けてくれるようになりました。家族の協力がなければ今の私はなかったでしょう。

二〇〇七年頃からは在京オーケストラのトッププレイヤーによって構成されているトロンボーン・クアルテット・ジバングからの作曲依頼を受けるようになり、その数年後には同団のレジデンスコンポーザー(専属作曲家)に就任。そして一昨年二〇一五年の秋には、これまでにトロンボーン四重奏のために書いた作品のCD「トロンボーンと私」がリリースされました。

いつも人との出逢いによって支えられて来た私の音楽活動ですが、これからも息長く続けて行けたらと思っています。



2015年秋発売のCD
トロンボーンと私

**人と人との
繋がりへの架け橋**



田畑 晃子
(広島観音 38 回)

代表取締役(旧姓 密山晃子)

URL <http://kikit.jp/>

広島女学院大学卒業後、新卒でリクルート人材センター(現リクルートキャリア)に入社、上京。営業、コンサルタント、組織マネジメントを経て二〇〇八年末退社し、翌年二〇〇九年に会社を設立。退社直後にリーマンショックとなり不況下ではありましたが、青山の小さなオフィスで人材エージェントを立上げました。現在に至るまで主に経営幹部、管理職を対象として採用支援、転職支援に取り組んでいます。これまで約三〇〇〇名近い方々の転職を実現企業様においては次世代エグゼクティブサーチ事業・採用アドバイザリー事業を中心にサービスを提供させて頂いております。Keep in touch(キープインタッチ)は、採用・転職を通じて、人と企業の大切な思いを実現できるような一人では出来ない『気づき』、これまでにない『出会い』のプロデュースを目指しています。

**女子体育史研究者
として歩む私の道**



掛水 通子
(広島観音 20回)

東京女子体育大学教授
同大学女子体育研究所所長

東京教育大学大学院修了後、すぐに東京女子体育大学に奉職し、今年で勤続四十三年目になります。まだまだ研究すべきことが残されていること、学生を立派な指導者に育成したいことから励んでおります。産前産後六週間の産休、ただで育休はない時代でしたが、二人の子どもたちも健康で、実家の両親や同業の夫、保育園にも恵まれてここまで来ました。

大学教員の主な仕事は教育と研究ですが、大学運営や学生指導などの様々な仕事もあ

『ずつと繋がっていいよね』、『きつと (kind)』という願いを込めて、『Keep in touch (キープインタッチ)』という社名に名付けました。

『人と人』の繋がりの架け橋になれる存在でありたいと願っています。

著書『採用側のホンネを見抜く 超転職術』* * *

ります。教育ではスポーツ史などの講義やゼミナール、卒業研究指導などを、研究では大学時代からのテーマである女子体育史に関する研究を中心に国内、国際学会で研究発表しながら論文や著書を書いています。国際学会出席は楽しみに、今年五月にはマイアミでの世界女性体育連盟国際会議、七月には中国杭州での東北アジア体育・スポーツ史学会で研究発表をします。また、十一月には六十一歳の時に纏めた博士(体育学)学位論文『日本における女子体育教師史研究』に加筆し、学術振興会科学研究費補助金を得て出版します。

スポーツにおける男女平等を目的に研究している、日本スポーツとジェンダー学会会長や体育史関係学会理事、監事などの学会運営の仕事にも追われています。女性も役員に入っていないければならないという信念からです。大学運営では女子体育研究所の所長として研究の推進をし、学生指導ではライフセービング部部長として、大会や合宿にも行きます。

趣味のテニス、ゴルフ、スキーや世界遺産巡りでも忙しく、家事をする暇どころか家に居る暇がなく、いつも夫に怒られているのが最大の悩みです。あと一年十一月で定年退職するので、それから家事に励みたいと考えています。

**人のつながりに
貢献したい**



北島 直子
(広島観音 25回)

CPハウス(株) 代表取締役

はじめまして、観音高校二十五回の北島直子と申します。卒業してから四十有余年、いつのまにか還暦も過ぎましたが、まだまだ現役で毎日走り回って仕事をしております。

地元広島を離れずにやり続けてきた印刷関係の仕事に加えて、今現在はサロンを拠点に「美と健康に関する情報発信」をメインとしてやっております。

その時々でいろいろな仕事に挑戦してきましたが、「つなぐ」という志から、いつもたくさんの方とつながり協力しあい、「お互いの専門分野を共有して応援しあえばどんなこともやりとげることができると」という思いでやってまいりました。最近では、認知症のお年寄りに寄り添う市民後見人としての役割もスタートいたしました。

これからも生涯現役をめざし、自らも健康に若々しく動き続けたいという目標に向かって、日々勉強を重ねながら活動してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

フェイスブック交流会「広島観音高校卒業者の会」

北島 直子 (広島観音25回)

フェイスブックを始めたのをきっかけに、6年前にフェイスブックのグループ「広島観音高校卒業者の会」を起ち上げました。3人から始めたグループも、今や366人の大所帯になっております。2か月に一回の交流会(飲み会)も32回を数え、毎回幹事をバトンタッチしながら続けております。親子ほども違うさまざまな年代の集まりですが、同窓という気楽さからすぐ仲良くなり、毎回楽しく交流しております。昨年の屋形船を貸し切った交流会には、初めて同窓会事務局からも参加をいただきました。自分の得意分野で参加するマルシェを開催したり、毎年恒例の野外牡蠣バーベキューなども楽しい行事のひとつです。マルシェやバーベキューは、卒業生だけでなく、友達や一般の方にも参加いただく大きなイベントになっています。昨年は、観音高校で行われた9つの講座で、卒業者の会から8人のOBが非常勤講師を勤め、当初からの目標だった現役生との交流も果たすことができました。この春卒業した現役生が、「卒業者の会」に入ることができると喜んでくれていたのが、とても嬉しいできごとでした。また、仕事でのコラボもひとつの目標でしたが、あちこちで実現しております。さすがに観音高校の卒業生、一人ひとりが「志・こだわり」を持って活動していますので、その志を共有し、お互いに応援しあえる関係を作っています。5年後の芸陽・観音高校100周年に向けて、ますます「卒業者の会」を大きく発展させ、大きな力となって社会に貢献できるグループとなることを願っています。みなさまも、ぜひご参加くださいませ。

ありがとう広島



三谷 啓子 (広島観音 31 回)

フリーアナウンサー

ミニラ、ピグモン、恐竜ベイビー、E.T、菊池桃子、小池百合子都知事と、似ている人や生き物を挙げればたくさん。(最近やつと地球外生物から人間になった感が嬉しい!) 自己紹介は「谷啓の両端に数字の三と、子供の子を付けて『三谷啓子』と申しませす。」これが最近の私の定番です。(相手の年代により滑ることもありますが・・・汗) 私はフリーアナウンサーとして、ラジオ・テレビ・各種司会・自信がもてる話し方講座等、様々な声の仕事をやらせていただき日々有難く過しております。初めて放送でニュースを読んだ時、ダメだしの嵐でどれだけ広島出身を恨んだことでしょうか。広島では当たり前だと思っていた発音、イントネーション、抑揚が東京では違うんだということにショックでした。(今はもちろん広島出身を誇りに思っています) 前置きが長くなりましたが、今日は放送の裏側ではなく、多くの人の舌を喜ばせている『ある事』を書かせていただきます。

これまで私が「広島お好み焼」を焼いて振舞った数、たぶん千枚以上でしょうか?! 全国の皆さんや、ちよつと有名な方々の口にも入っています。最近では、男の料理教室の講師・国際交流として活用・地元居酒屋でのお好み焼DAYなど、お好み焼き誕生日も語りながら紹介しています。これもひとえに広島出身であることのありがたい産物です。仕事では方言で苦労した私ですが、今は広島出身を大いに自慢し喜ばれています。そんな私の作る「広島お好み焼」は、ひっくり返さず失敗しない、バーベキューでもできて手軽で簡単、目からウロコの焼き方です。「広島お好み焼宣伝大使」として、どこかで採用していただきたい程ですが、とりあえず在京観音同窓会で「お好み焼倶楽部」を作って、みんなで焼いて乾杯でもしましょうか!

心から、ありがとう広島く、



私の甲斐



栗間 左千乃 (広島観音 31 回)

㈱キューブ舞台プロデューサー

演劇好きだった両親に連れられて観た様々な舞台。その記憶は、本物の馬の登場と劇場を揺るがすような大音響に大泣きをした時に始まり、広島で観たミュージカルのオーブニングに心が昂ぶり、「将来この仕事をした」と思っていた中学生の私。大学受験で上京した時に観たミュージカルのメインナンバーに何故か涙が止まらず、「やつぱり将来はここで、その為に受験を頑張ろう」と、ある意味不純な決意をした三十年以上前のあの時。

そんな私は今、芝居やコンサート、ライブを製作する仕事をやらせて頂いています。それは企画を考えるところから始まり、劇場、稽古場、スケジュール、キャスト・スタッフの決定、チケット販売手配プログラムの製作、ツアーに出る際の乗物・宿の手配……。本当にありとあらゆる事を行う、言ってみれば何でも屋。でも、初日の客席の一番後ろに立ち、ドキドキしながらお客様の発して下さる

メッセージを全身で受取る時、この仕事の甲斐を感じるのです。それは甘くもあれば、苦くもあれば、酸っぱくもありませんが、正に『やり甲斐』であり、困難にも負けない魅力です。

手のひらに乗る小さな画面からどんな情報も得る事が出来るこのご時世で、劇場に行かなければ会う事が出来ない『舞台』という生き物と幼い時から仲良くさせてくれた今は亡き両親と、一年生の時にA組だった為、まだまだ現役バリバリだった(??) キリマジンジャロでの高校生活を味わう事が出来なかった私に、そこに部室があった演劇部に入ったお陰で、『観音高校名物キリマンジャロ』での思い出を与えてくれた『演劇』に心から感謝しています。いつまでその愛すべきものたちに寄り添って行けるのかは分かりませんが、演劇の神様に怒られぬ様にもう少しこの世界で生きて行きたい、と思う今日この頃です。



東山義久、小野武彦、瀬奈じゅん 撮影：桜井隆幸 『エジソン最後の発明』 2017年4月シアターラム 製作：キューブ・ニッポン放送

観音高校第十一回生 (昭和三十五年卒) 第二回在京同期会報告

日時 平成二十九年一月二十一日 土曜日正午より
場所 銀座七丁目「皆美」
出席者十名
*写真前列左から

- 松田孝子(旧、大森C組)
- 久野和子(旧、長崎A組)
- 平田敬子(旧、中前D組)
- *後列左から
- 世良宣義(F組)、寺岡明昭(E組)、山岡義典(D組)、田中秀穂(E組)、武藤達(C組)、藤井明(B組)、中村洋一郎(A組)



昨年一月、藤井明氏の尽力で第一回の在京同期会が開催されたが、第二回をA組の中村と久野の幹事で「松江の味皆美」にて開催した。

前日に「大寒」入りし最も寒い時期に、概ね後期高齢者(七十五才)となった元氣者十名が出席した。冒頭、中村より開会の挨拶の後、皆の健康とこの会の未永い存続を祈念して乾杯した。暫く、美味しい料理と島根の地酒(日本酒・ワイン)を堪能しながら歓談した後、各自より、高校時代の思い出、卒業後の略歴、趣味その他を幹事持ち込みのストップウオッチで一人五分の制限時間で話した。松江に1年間住んだことがあったので松江料理が懐かしい人、エジプト・クウェート・インドネシアのイスラム圏で仕事をしていたことがある猛者、妻に先立たれたが元気で書道を教えている人、百七才の母から自分より早く死んではいけないと言われている医師、米国二度勤務の元信託銀行員、等々話は尽きず、二時間半があつたという間に過ぎた。

最後に、久野より、来年は、もう少し暖かい時期に行きたいとの提案がなされ、来年は、三月十七日(土)十三時に開催すること、及び、次の幹事はC組にお願いすることを確認して、中締めとなった。

記念撮影を撮った後、二次会は、全員が、近くにある日本最古のコーヒー店「銀座カフェーパウリスタ」へ行き、第四十五代米国大統領に就任したばかりのトランプ大統領に関することその他の話題で話が尽きなかったが、来年元気で再会することを期して散会した。

(中村記)

芸陽観音ゴルフ会

2016年

在京芸陽観音ゴルフ会報告

松本 直和(広島観音20回)

二〇一六年度のゴルフ会は、春が紫カントリークラブあやめコース、秋が千葉カントリークラブ川間コースの千葉ルート十六シリーズでした。

春の大会では、二中二十二次の石丸先輩がお元気で、エイジシュート達成のキャリアを發揮して優勝され、秋は観音十八回高杉さんが優勝されました。おめでとうございます。また、秋には、観音三十一回小松さんが久々の若手として参加されました。これからも若手の皆様の参加をお待ちしています。二〇一七年度春は四月二十日に鎌ヶ谷カントリークラブで開催しました。秋参加をご希望の方は当会幹事までご連絡ください。

- ▼春コンペ(紫CCあやめ)
 - 優勝 石丸恵照(二中22)
 - 準優勝 今本智行(観音14)
 - 三位 齋藤 登(観音20)
 - ベストクロス 田中義一(観音20)

- ▼秋コンペ(千葉CC川間)
 - 優勝 高杉正治(観音18)
 - 準優勝 今本智行(観音14)
 - 三位 古田正雄(観音14)
 - ベストクロス ベストクロス
 - 今本智行(観音14)



バレーボールからテニスとゴルフへ

掛水 通子(広島観音20回)

二期上の久保田先輩から「ゴルフ交遊録」のバトンを受け取りました。私たち二十回は、今では在京同窓会会長の松本氏の尽力によって、平成十五年二月二十二日に在京同期会で三十四年振りに再会しました。私はその年の夏、スクールだけで止めていたゴルフを再開しテニス仲間とコースに出始め、同期でも回るようになり、平成十八年に芸陽観音ゴルフ会に入り、エイジシュートを達成された程の畏れ多い先輩と回らせていただいています。最近では、現役の私に合わせて日程を決めて下さるので参加せざるを得ません。二十回は多くの会員数を誇り、常に数人

は参加し、私以外は皆優勝を争っています。私はコンペの時だけ赤ティーから打つドライパーとフェアウェイショットだけなら優勝も可能ですが、小技が下手で、最下位を争う相手もいません。でも、河川敷では八十七で回ったことやテニスの試合に負けて午後から出掛け、イーグルを出したこともあるのですよ。

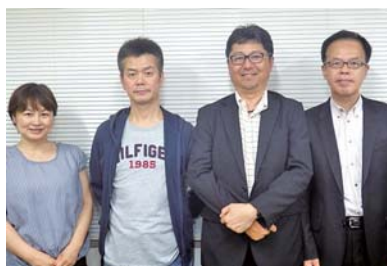
広島在住は中三夏から高校卒業までの僅か三年半でしたので、こうして在京同窓会報に書いていることは不思議です。大学一年の夏休みには、東京から父の転勤先北海道の初めて見る自宅に帰省しました。在京同期会で、同じような境遇の転勤族が多かったことに驚かされました。

私は東洋の魔女に憧れ、中学でバレーボール部に入り、彼女たちが東京オリンピックで金メダルを取った瞬間を駒沢球場で見たことを一生の思い出としています。中高とも屋外コートで回転レシーブをするため泥まみれだったので、高校コート隣の硬式テニス部は汚れなくていいなと見ていました。また、アタックでミスした時、パス、トスと繋いでくれた仲間にも申し訳なく、大学では自分の失敗は自分で背負う個人スポーツをしようとして決めて硬式テニス部に入り、今もテニスクラブで続けています。シングルスは好きですが、クラブでの遊びはダブルスばかりで、バレーボールと同じ思いをします。個人スポーツ、しかも、高齢者でも楽しめるゴルフに辿り着きました。手からラ

ケット、クラブへと次第に遠く、次第に小さくなったボールを扱うことになり、難しいスポーツに挑戦することになりました。バレーボールで鍛えた下半身と肩がテニスで、テニスでさらに鍛えた足がゴルフで役立っています。各々年二回の芸陽観音と勤務先のコンペを励みに、テニス仲間同期や夫とともに、いつまでもコースに出たいと思います。

次は同期の田中氏へバトンを渡します。

新理事紹介



▶写真右から
 玉垣(広島観音25回) 庶務担当
 交流の場を増やし、何か楽しそうと感じられる在京同窓会にしたいと考えています。
 小松(広島観音31回) 会計担当
 同窓会は、もう少しで百周年。微力ながら、在京の活動を盛り上げていきます！
 勝山(広島観音32回) 会報担当
 同期の友人達を巻き込んで大いに楽しみたいと思います。
 井上(広島観音34回) 会報担当
 先輩方の胸を借りて、理事会という「クラブ活動」を楽しく行っていきたいです。音楽部OB合唱団で歌っています。

「第二回 合唱と朗読による いしぶみコンサート」のご案内

広島県立広島観音高等学校音楽部OB合唱団東京支部は、本年10月14日(土)午後2時より早稲田奉仕園スコットホールにおいて「第2回 合唱と朗読による いしぶみコンサート」を開催します。ご家族やご友人をお誘い合わせの上、お越しくださいますようお願い申し上げます。

▼チケット・お問い合わせ▼

090-8343-1086 (三浦)kannon0808@gmail.com

～広島県立広島観音高等学校音楽部OB合唱団について～

観音高校音楽部の卒業生を中心に、高校時代の音楽部顧問である益田遙先生を指揮者に迎え、2000年1月に結成されました。2002年8月、「混声合唱のためのレクイエム『碑』」をメインステージとした第1回祈念コンサートを開催。その後も毎年祈念コンサートでレクイエム「碑」を歌い続けています。昨年、OB合唱団の在京メンバーを中心に、観音高校演劇部OB蔦村三枝子さんの朗読を交えた「いしぶみコンサート」を開催しました。

～「いしぶみ/広島二中一年生全滅の記録」について～

「いしぶみ/広島二中一年生全滅の記録」は、1969年に広島テレビ放送が制作し、広島市出身の女優 杉村春子さんの語りによって放映されたドキュメンタリー番組「碑」(いしぶみ)をもとに、翌1970年ポプラ社から刊行された書籍です。

1945年(昭和20年)8月6日、観音高校の前身である旧制広島県立広島第二中学校1年生3百余名は4人の先生に引率され、建物疎開(空襲による火災の延焼を防ぐために建物を取り壊す作業)のために本川土手に集まっていました。

午前8時15分、一発の原子爆弾により、二中の1年生と先生の全員が亡くなりました。

広島二中1年生がどのような状況で亡くなったのが、彼らのご両親やご遺族からの手記等に基づいて書かれています。2015年7月に新装版、2016年12月に英語版が刊行されました。

～混声合唱のためのレクイエム「碑」について～

ドキュメンタリー番組「碑」(いしぶみ)放映当時、男声合唱団「広島メンネルコール」の代表だった山本定男氏(被爆時に広島二中の2年生)は、このドキュメンタリー番組に感銘を受け、番組をプロデュースした薄田純一郎氏(作詩)と作曲家の森脇憲三氏に働きかけ、合唱組曲「男声合唱のためのレクイエム「碑」」を完成させました。奇しくも作詩・作曲共に広島二中出身者という、因縁の作品の誕生です。

1970年10月、山本定男氏の指揮により広島公会堂(現広島国際会議場)で初演されました。混声合唱版は、広島市を中心とした合唱団の合同合唱により1975年7月に初演されています。

レクイエム「碑」は、広島に投下された原爆により全滅した広島二中1年生の、被爆の瞬間から全滅までの惨状を、少年らの学校生活の情景を交え、全9章で構成されています。

第二回 合唱と朗読による
いしぶみコンサート

広島県立広島観音高等学校音楽部OB合唱団 東京支部
& 蔦村三枝子

混声合唱のためのレクイエム「碑」
[薄田純一郎 作詞/森脇憲三 作曲]
いしぶみ/広島二中一年生全滅の記録
[広島テレビ放送編 | ポプラ社刊]

朗読 蔦村三枝子
ピアノ 奈良康佑
指揮 三浦順二

2017年10月14日(土曜日)
午後2時開演(午後1時30分開場)
1500円(全席自由)

早稲田奉仕園スコットホール
新宿区西早稲田2-3-1 ☎03-3205-5411
東京駅前副都心 西早稲田駅より(徒歩3分)
東京駅より(徒歩15分)

【問い合わせ先】
広島県立広島観音高等学校音楽部OB合唱団東京支部
090-8343-1086(三浦) / kannon0808@gmail.com

主催：広島県立広島観音高等学校音楽部OB合唱団(東京支部) 後援：在京芸陽観音同窓会



(敬称略)

平成28年度会報発行支援費・寄付納入者

二中

Table with 3 columns: 回 (No.), 氏名 (Name), 氏名 (Name). Lists donors from the Nishu group.

観音

Table with 3 columns: 回 (No.), 氏名 (Name), 氏名 (Name). Lists donors from the Kannon group.

観音

Table with 3 columns: 回 (No.), 氏名 (Name), 氏名 (Name). Lists donors from the Kannon group.

観音

Table with 3 columns: 回 (No.), 氏名 (Name), 氏名 (Name). Lists donors from the Kannon group.

観音

Table with 3 columns: 回 (No.), 氏名 (Name), 氏名 (Name). Lists donors from the Kannon group.

観音

Table with 3 columns: 回 (No.), 氏名 (Name), 氏名 (Name). Lists donors from the Kannon group.

観音

Table with 3 columns: 回 (No.), 氏名 (Name), 氏名 (Name). Lists donors from the Kannon group.

※以上の他、昨年10月の懇親会時に、多数の方々からご寄付、ご支援をいただきました。ありがとうございました。平成29年3月末日現在

全国訪問介護協議会 会長 株式会社さくらケア代表取締役 荒井 信雄 (観音 32 回卒業) 事業内容: 国政・行政への政策提言活動, 訪問介護事業発展に向けたセミナー開催...

在京芸陽観音同窓会 2015年度決算報告書(単位:円) 2016年3月31日. 前年度繰越 447,352. 収入の部: 総会費 650,000, 会報発行支援費 246,000, 寄付 128,000, 広告費(注1) 50,000. 支出の部: 総会会場費 666,478, 会報関連費(注2) 289,324, 振替手数料 28,880, 郵送費 141,650, 打合せ費用 30,000, 払い戻し 8,000, その他(注3) 30,238. 次期繰越金 328,782. 内訳: 振替口座 304,621, 現金 22,161. 注1: 広告費 南ビーアドヴァンス 南メディア・ユ-1(コマ) 横浜市原爆被災者の会 浜友の会(1コマ) 医療法人社団 有隣会 植原歯科(2コマ). 注2: 会報印刷費 189,720, 封入・ラベル 22,479, 取扱票印刷 18,020, 封筒代 40,800, 消費税他 18,305. 注3: 複写・用紙代 191, 運搬費 7,742, 書留料 512, 謝礼 3,564, 花代 5,000, 切手代他 841, 名札ホルダー 388, 通信費・封筒代 12,000.

八丁堀 生麺に観音ネギで食感絶妙 こだわり抜いた 本格的広島お好み焼き 食べに来んさぬ! 東京都杉並区天沼3-12-7 JR荻窪駅北口より徒歩5分 03-3398-8828



アムフォーラム教育研究所

代表 松井明子 (観音 25 回卒業)

■ 教育事業 ■

幼児・小学生・中学生・高校生学習指導及び受験講座開設
 大学受験・大学院受験指導及び各学習講座開設
 幼児・小学校専門講師指導
 女性学・女性アカデミック講座・女性キャリアサポート講座
 〒193-0934 東京都八王子市小比企町 540-13
 Tel: 042-635-8255 (FAX: 042-635-8257)
<http://www.amforum-erc.com>
 【分室】赤坂ノ虎ノ門



横浜インプラント歯科センター
野々山歯科医院
 院長 野々山 浩介 (観音 31 回生)

〒220-0051 横浜市西区中央1-27-13-1階
 ☎ 045-312-6404

感動の紙面づくりをお手伝い。

<https://www.media-you.com/>

学校PTA広報紙・同窓会報・会社広報
 パンフレット・封筒・カラー名刺の
 デザイン・制作・きれいな印刷



有限会社 **メディア・ユー** 担当/浦野 政博
 〒121-0813 東京都足立区竹の塚3丁目16番6号
 TEL 050-3580-8178 FAX 03-5686-0232

損害保険代理店
 アメリカンファミリー生命保険代理店

西和興産株式会社

古屋 由利子 (観音 13 回)

〒733-0007 広島市西区大宮 1 丁目 27 番 4 号
 Tel 082-238-9100 Fax 082-237-4493

OKONOMI HOUSE
KUNI-CHAN



お好み焼き **クニチャン**
 神奈川県川崎市多摩区菅 2-4-3
 京王稲田堤 JR 稲田堤駅から徒歩 3 分
 ☎044-946-3477

医療機器・体外診断薬 コンサルティング

お気軽にお問い合わせ下さい

qualysinnova.com

Qualys Innova

クオリス・イノバ株式会社 神奈川県相模原市清新 7-5-5
 代表取締役社長 木村 浩美 観音30回

Thumbsup ドレス系アクセサリブランド Thumbs up (サムズアップ)
 西武池袋本店5階および西武ネットショップにて展開中



西武ネットショップ
<http://edepart.7netshopping.jp/ss/brand/002215/>
 ZOZOマーケット <https://thumbs-up.stores.jp/>

PADVANCE
 観音25回卒業 玉垣俊彦



全国9店舗 タイル専門のショールーム

MOSAIC.a 札幌・仙台・東京・横浜・静岡・名古屋・大阪・広島・福岡

色・大きさ・形・手触り・美しさ・気品....
 タイルの魅力と驚きがいっぱいです。

タイルをアートに!!



名古屋モザイク工業株式会社

www.nagoya-mosaic.co.jp

東京支店・ショールーム

東京都渋谷区代々木1丁目21-8 クリスタルハウス



IONIA Ltd.
<http://ionia.co.jp/>

カーテン・壁紙等インテリアデザインのお手伝い致します
 お気軽にお問い合わせを

株式会社 **イオニア**

東京都渋谷区恵比寿西 1-34-28 代官山ファースト 202 号室
 TEL: 03-5728-2891 FAX: 03-5728-2892 email: ionia@fj8.so-net.net.jp
 観音 20 回卒業 齋藤 登

第三十回在京芸陽観音
同窓会開催報告

広島観音25回 玉垣 俊彦

三十周年記念行事として企画された「いしぶみミニコンサート」のスタートです。朗読 蔣村三枝子さん、ピアノ伴奏 高嶋圭子さん、合唱はOB合唱団東京支部と大学生など若手メンバーという編成で、ピアノ伴奏とともにレクイエムが始まりました。少数とは思えない迫力のある混声合唱です。一人一人の熱い想いが伝わってきます。心に響きます。そして、魂をゆさぶられるような朗読の力強さ。プロの朗読、言葉の力はやはり違うのだと思いました。合唱と朗読が織りなす「いしぶみコンサート」の神髄をかいま見る思いがしました。限られた時間ではありましたが、



こみ上げてくる感動は言葉になりません。コンサートに出演して下さった皆様、ほんとうにありがとうございます。会場、司会者を中心突然力一の応援がはじまりました。二十五年振りの優勝を皆で祝う『宮島さん』の唄、万歳三唱と続きます。今年のカーブは最高です！

ひとしきり盛り上がった後は、本日広島より駆けつけて下さった益田遙元先生にご挨拶をいただき、先生の指揮により全員で校歌斉唱をしました。二中、観音高校の唄う全員の姿は学生時代に戻っているかのようでした。

今回は百十名という多くの同窓生が集まっていたいただき、大変盛り上がった会になりました。お忙しいにもかかわらず、集まって下さった同窓生に深く感謝いたします。次回もまた元気で会いましょう！

在京芸陽観音同窓会は
最高です！



母校サッカー部 広島県大会優勝!!

| | | |
|--------|-----|-----|
| 広島観音 | VS | 瀬戸内 |
| 0 | 1ST | 0 |
| 2 | 2ND | 1 |
| 2TOTAL | | 1 |

インターハイ サッカー男子の部 広島県大会において母校サッカー部が見事に優勝しました。全国大会出場、おめでとう！次は全国高等学校サッカー選手権の優勝を目指せ！在京の同窓生が待っている！

